

株式会社サンエー

2021年2月期 決算説明資料

会社概要

商号	株式会社サンエー
創業	1950年1月5日
会社設立	1970年5月28日
資本金	37億円
代表者	代表取締役会長 折田 譲治、代表取締役社長 上地 哲誠
本社所在地	〒901-2733 沖縄県宜野湾市大山7丁目2番10号
事業内容	食料品と衣料品ならびに家電・日用雑貨等の住居関連用品の小売業
従業員数	1,770人 ※2021年2月末現在、当社から当社グループへの出向者を含む
連結子会社	(株)ローソン沖縄、(株)サンエー浦添西海岸開発、(株)サンエーパルコ

沿革



当社の前身は、創業者故折田喜作が1950年1月、沖縄県平良市（現：宮古島市）に創業した個人経営の雑貨店「オリタ商店」であります。

- 1970年5月 沖縄県那覇市安里に株式会社サンエーを設立（資本金50千ドル）
- 1970年7月 沖縄県那覇市安里に1号店「那覇店」を開店
- 1972年5月 本土復帰に伴う通貨の切換えにより、資本金は24,400千円となる
- 1977年6月 食品部門を開設
- 1982年9月 サンエー運輸株式会社（非連結子会社）を設立
- 1984年11月 「大山流通センター」を開設、DCを稼働
- 1985年5月 沖縄県宜野湾市大山に本社を移転
- 1985年6月 「生鮮加工センター」（現：「食品加工センター」）を開設
- 1985年11月 沖縄県浦添市に郊外型S C「マチナトショッピングセンター」（現：「マチナトシティ」）を開店
- 1989年9月 ニチリウ（日本流通産業株式会社）グループに加盟
- 1992年9月 食品加工センター内に食品工場を稼働
- 1995年4月 株式会社ダイイチ（現：株式会社エディオン）とFC契約を締結し、家電販売を開始
- 1998年10月 「サンエーカード」（ポイントカード）を導入
- 2000年9月 日本証券業協会に店頭登録
- 2002年1月 株式会社ジョイフルとF C 契約を締結し、レストラン「ジョイフル」1号店（FC）を開店
- 2002年10月 「那覇メインプレイス」を開店
- 2005年2月 東京証券取引所市場第二部に上場
- 2005年7月 沖縄県宜野湾市にN S C 1号店「大山シティ」を開店
- 2006年2月 東京証券取引所市場第一部に上場
- 2006年7月 I S O 2 2 0 0 0 認証取得（食品加工センター）
- 2006年10月 ドラッグストア「マツモトキヨシ」1号店（FC）を開店
- 2009年12月 株式会社ローソンの合併会社「株式会社ローソン沖縄」（連結子会社）が運営を開始
- 2012年7月 「東急ハンズ」1号店（FC）を開店
- 2013年8月 株式会社良品計画と「無印良品」ライセンス・ストア基本契約を締結し、同年10月に1号店を開店
- 2014年10月 株式会社フェニックスとサブライセンス契約を締結し、「ビザハット Express（エクスプレス）」1号店を開店
- 2015年11月 「株式会社サンエー浦添西海岸開発」（連結子会社）を設立
- 2016年12月 株式会社バルコとの合併会社「株式会社サンエーバルコ」（連結子会社）を設立
- 2019年6月 「浦添西海岸PARCO CITY」を開店、「アカチャンホンポ」（パッケージライセンス）、「リトルマーメイド」（F C）の1号店を開店

店舗の状況

※2021年2月末現在



店舗数 合計 85店舗（単体）

沖縄本島

総合店舗	：	22
衣料・住関連店舗	：	1
食品店舗	：	43
外食店舗	：	10
ドラッグストア	：	2

沖縄本島

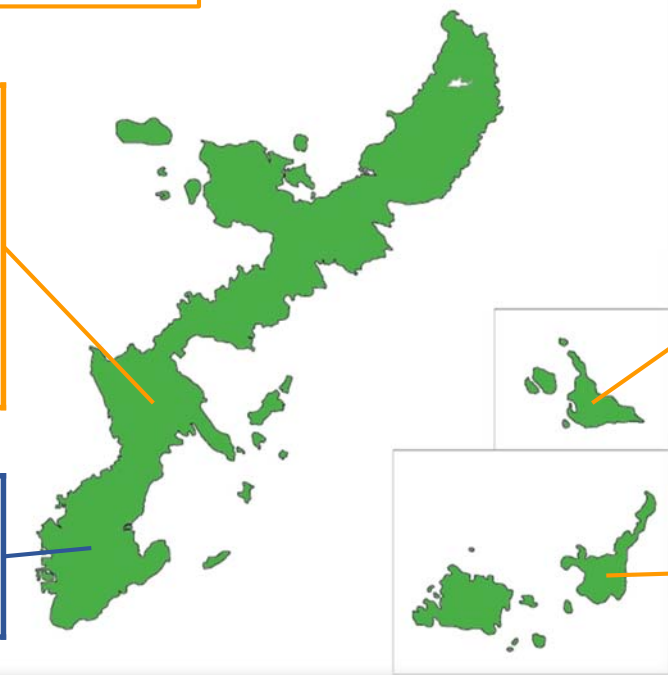
コンビニ 直営店	：	3
FC店	：	242

宮古島

総合店舗	：	1
食品店舗	：	2
外食店舗	：	2

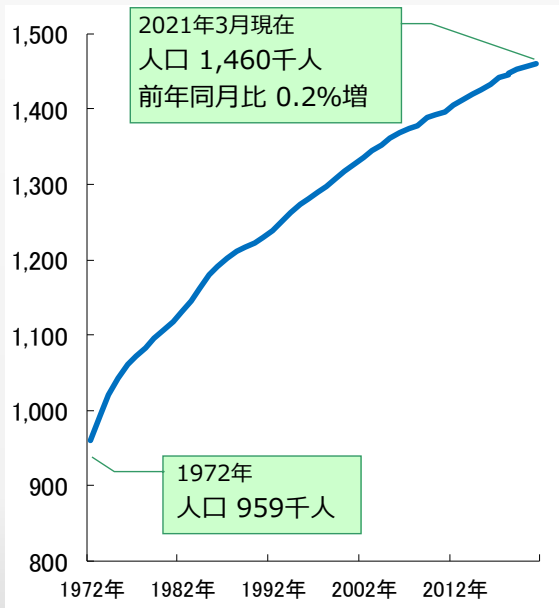
石垣島

総合店舗	：	1
外食店舗	：	1



沖縄県の人口は継続増加、全国一の出生率、若い層が多い

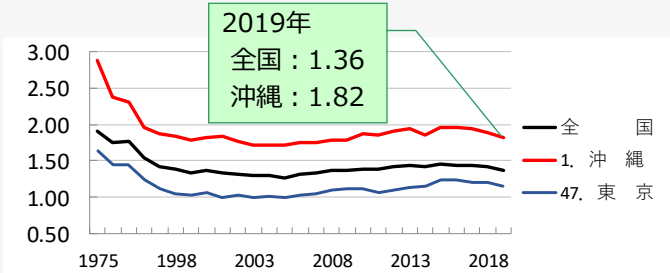
人口推移（1972年～2021年3月）



(出所：沖縄県企画部統計課「沖縄県推計人口」)

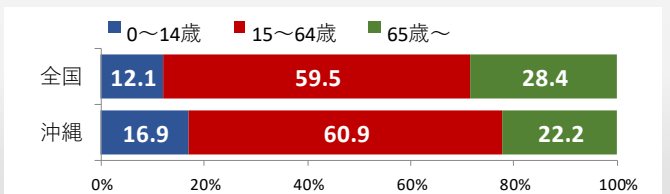
合計特殊出生率（1975年～2019年）

合計特殊出生率：1人の女性が一生に産む子供の数の平均



(出所：厚生労働省「人口動態調査」)

人口構成（2019年10月）

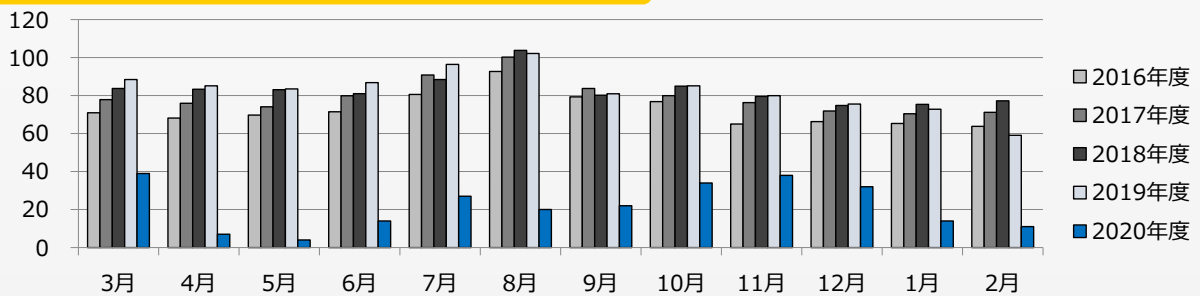


(出所：総務省統計局「都道府県、年齢3区分別人口の割合」)

新型コロナウイルスの影響により大幅に減少（外国人はほぼゼロ）

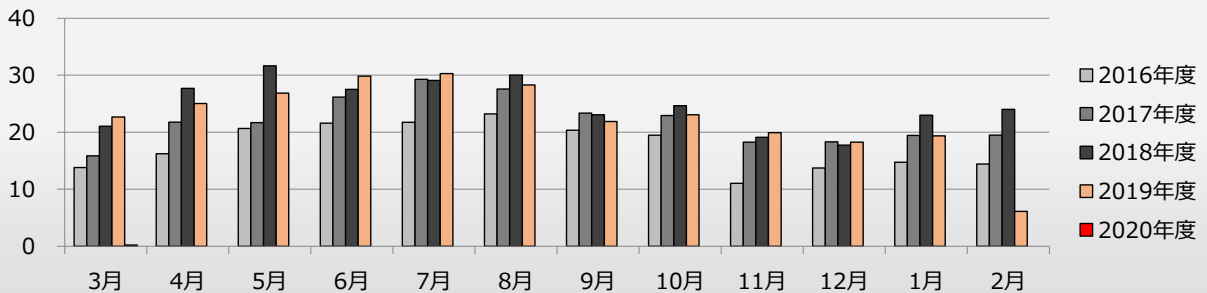
入域観光客数の月別推移（国内・外国合計）

(単位：万人)



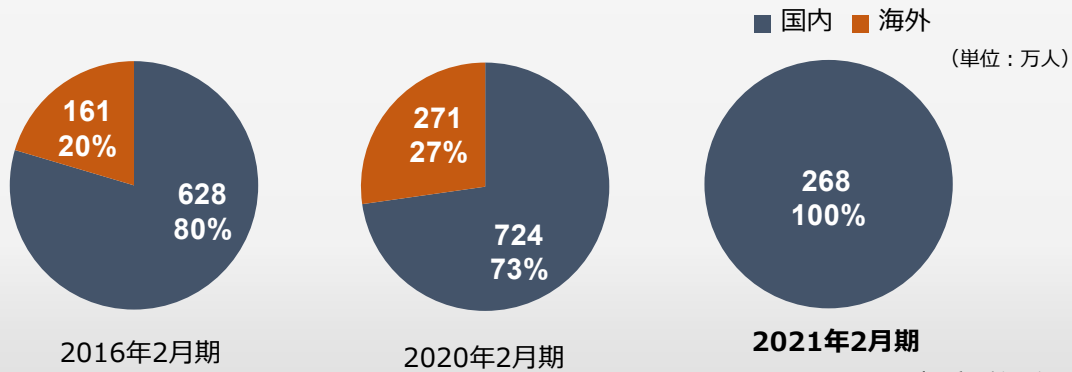
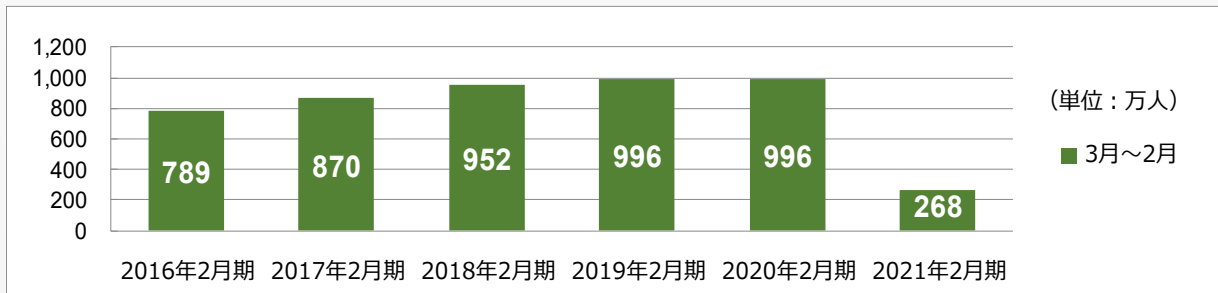
入域観光客数の月別推移（外国人）

(単位：万人)



(出所：沖縄県観光政策課)

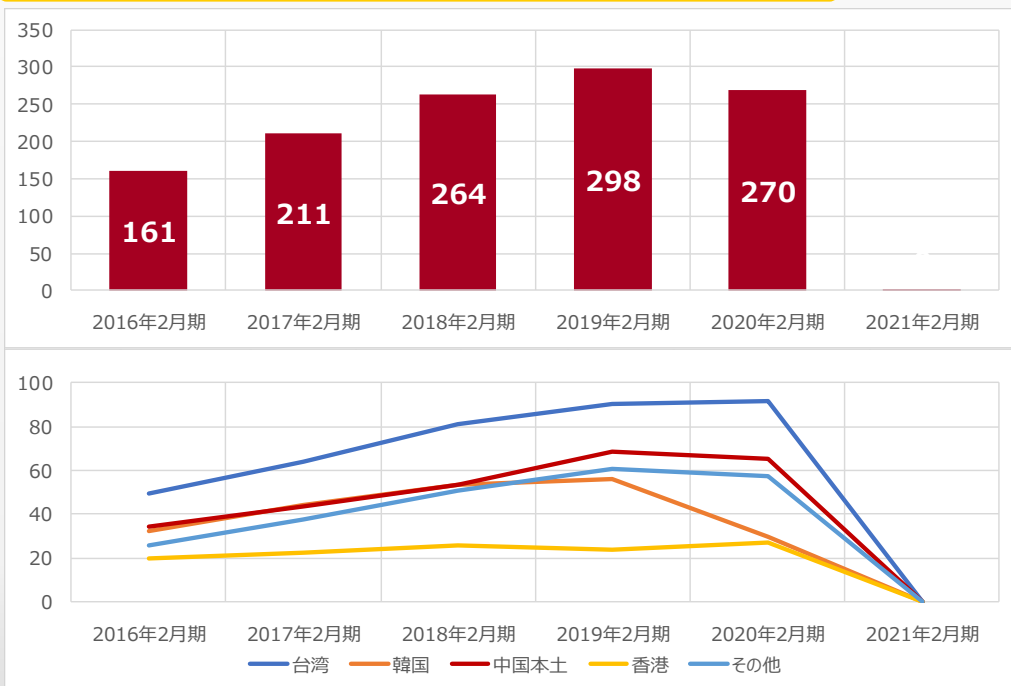
入域観光客数の推移（2016年2月期～2021年2月期）



(出所：沖縄県観光政策課)

入域外国人観光客数の推移（2016年2月期～2021年2月期）

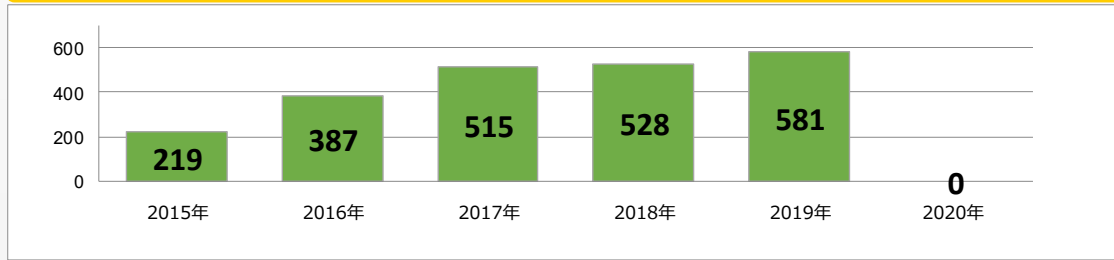
(単位：万人)



(出所：沖縄県観光政策課)

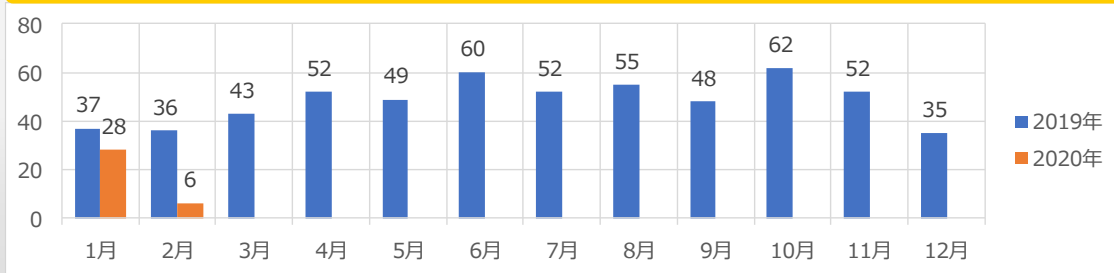
2020年1月以降、クルーズ船寄港回数が大きく減少

沖縄県へのクルーズ船寄港回数（年間推移）



2019年：那覇港260回（+7.0%）石垣港148回（+38.3%）平良港（宮古島）147回（+2.8%）

直近の沖縄県へのクルーズ船寄港回数（月別）

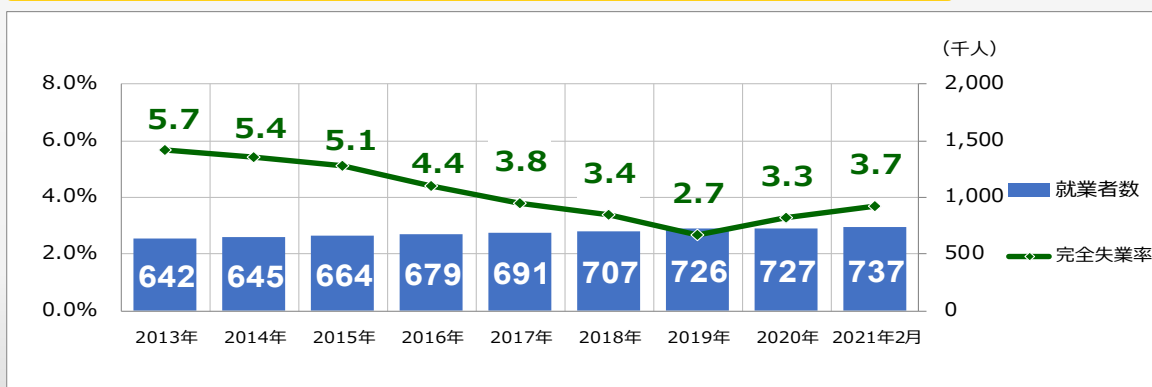


（出所：沖縄総合事務局）

新型コロナウイルスの影響により、雇用環境は悪化

- 完全失業率：3.7%（前年同月：3.1%）
- 有効求人倍率：0.75倍（前年同月：1.1倍）
- 就業者数：737千人（前年同月：746千人） ※2021年2月現在

就業者数および完全失業率の推移（暦年：2013年～2021年2月）

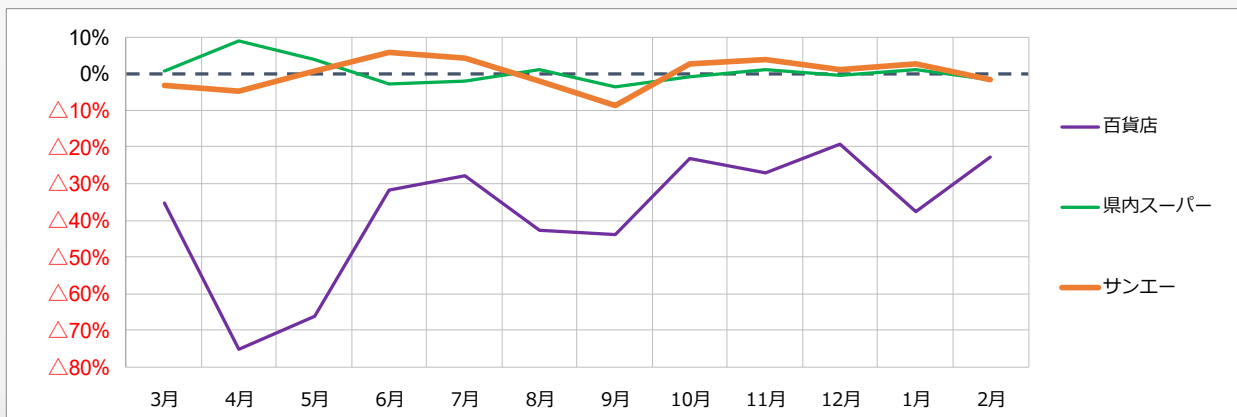


（出所：沖縄県企画部統計課「労働力調査」）

新型コロナウイルスの影響

→ 沖縄県内の経済環境も全国同様に厳しい状況が続いた

沖縄県内主要小売企業の既存店売上高増減率推移（2020年3月～2021年2月）



※県内スーパー：サンエー除く
 (出所：(株)りゅうぎん総合研究所「県内の景気動向」)

出店（2021年2月期）

サンエー石川シティ

計画店舗の概要

所在地	うるま市石川
オープン	2020年8月1日
業態	総合小売店舗
店舗面積	9,862㎡
駐車台数	1,000台



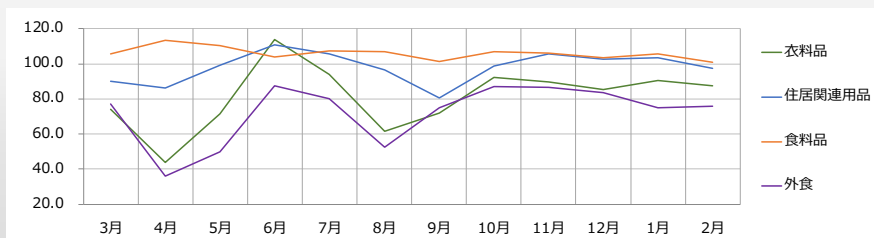
部門別売上高

(単位：百万円・%)

部門の名称		金額	構成比	総合前年比	既存店前年比
小売部門	衣料品	11,903	6.3	83.1	80.4
	住居関連用品	54,475	28.8	101.1	97.7
	食料品	115,252	60.9	108.0	105.5
	外食	6,761	3.6	74.9	72.3
	小計	188,394	99.6	102.4	99.9
CVS		722	0.4	80.4	76.2
売上高合計		189,116	100.0	102.3	99.8

※CVSは直営店舗の売上

部門別売上高前年比の推移（既存店）



<新型コロナウイルスの影響>

【売上高】

- ・ 食料品、住居関連用品は巣ごもり需要で大幅伸長
- ・ 衣料品、外食は時短営業の影響もあり大幅減少

【粗利率】

- ・ 衣料品、外食の売上減による粗利ミックスの低下

【営業収入】

- ・ テナントの時短営業、賃料減免等による賃料収入の減少
- ・ ローソン沖縄のロイヤリティ収入の減少

前期・予算比較 (連結)

(単位：百万円・%)

	2021年2月期						2020年2月期	
	実績				予算		実績	
	金額	売上比	前年比	達成率	金額	売上比	金額	売上比
営業収益	202,767	-	101.7	99.3	204,267	-	199,292	-
売上高	189,116	-	102.3	100.3	188,592	-	184,832	-
売上総利益	58,714	31.0	100.5	99.1	59,271	31.4	58,406	31.6
営業収入	13,650	7.2	94.4	87.1	15,674	8.3	14,459	7.8
販管費	63,215	33.4	101.6	97.1	65,086	34.5	62,243	33.7
営業利益	9,149	4.8	86.1	92.8	9,859	5.2	10,622	5.7
経常利益	9,554	5.1	82.3	94.0	10,160	5.4	11,609	6.3
当期純利益※1	6,074	3.2	79.1	92.2	6,586	3.5	7,683	4.2
EBITDA※2	17,058	9.0	96.7	95.9	17,785	9.4	17,639	9.5

※1：親会社株主に帰属する四半期純利益、※2：EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 (定率法)

決算のポイント



営業利益：9,149百万円 (1,472百万円減、86.1%)

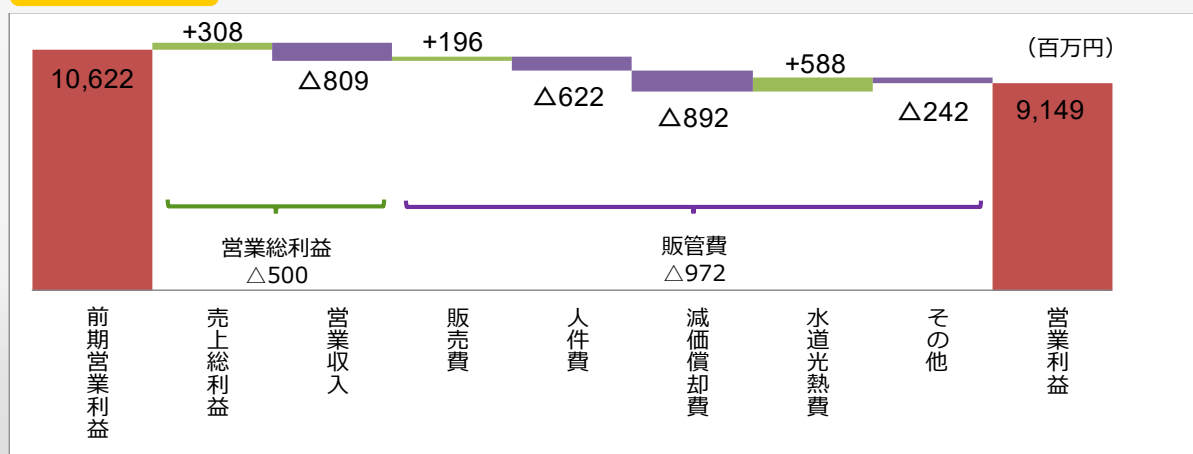
売上総利益：売上高102.3%、粗利率31.0% (前期31.6%)

営業収入：テナント及びコンビニ収入の減少

販売費：チラシ、イベント自粛による広告宣伝費の減少

減価償却費：石川シティ出店 (前期：パルコシティ出店) ※定率法

営業利益増減



気づく、考える、実行する

社会の環境変化により、お客様のニーズも変わる。
それに応えるのが私達サンエーの役割である。
一人ひとりが主体性をもって参加し、自分のこととして
気づく、考える、実行する。

1. 企業理念の浸透と七大基本の実行
2. 店舗力の向上
3. 商品力・仕組力の向上
4. 人財力の向上
5. 持続性ある企業体質づくり

既存店の活性化（2022年2月期）

無印良品

経塚シティ（2021年2月オープン）

所在地	浦添市経塚
店舗面積	約620㎡

しおぎきシティ（2021年4月オープン）

所在地	糸満市潮崎町
店舗面積	約1,075㎡



食品売場への展開

那覇メインプレイス（2021年3月オープン）

所在地	那覇市おもろまち
店舗面積	約32㎡



アカチャンホンポ（県内2号店目）

ハンビータウン

所在地	中頭郡北谷町
オープン	2021年4月
店舗面積	約1,322㎡



マツモトキヨシ（売場拡大）

宜野湾コンベンションシティ

所在地	宜野湾市字宇地泊
オープン	2021年3月
店舗面積	約347㎡



2022年2月期計画

連結予想

（単位：百万円、%）

	2022年2月期			2021年2月期	
	金額	売上比	前年比	金額	売上比
営業収益	208,022	-	102.6	202,767	-
売上高	193,156	-	102.1	189,116	-
売上総利益	60,589	31.4	103.2	58,714	31.0
営業収入	14,865	7.7	108.9	13,650	7.2
販管費	64,981	33.6	102.8	63,215	33.4
営業利益	10,474	5.4	114.5	9,149	4.8
経常利益	10,850	5.6	113.6	9,554	5.1
当期純利益 ※1	7,227	3.7	119.0	6,074	3.2
EBITDA ※2	17,862	9.2	104.7	17,058	9.0

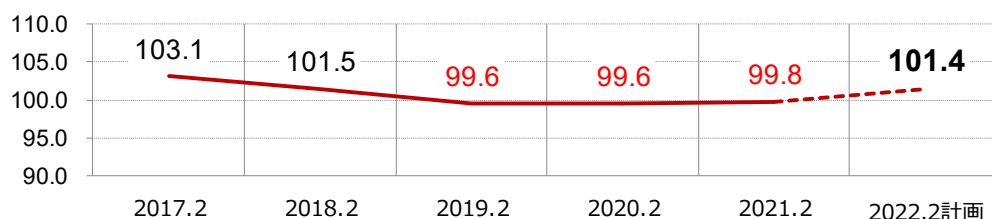
※1：親会社株主に帰属する当期純利益、※2：EBITDA＝営業利益＋減価償却費（定率法）

2022年2月期計画



既存店売上高前年比

	1Q	2Q	3Q	4Q	通期
既存店売上予想	102.4	100.4	101.5	101.4	101.4



- ・新型コロナウイルスの影響が2022年2月まで続く前提で計画
→実際の終息時期によっては変動する可能性あり
- ・前期1Qの新型コロナウイルスによる影響（一部店舗の臨時休業等）の反動増
- ・前期2Qの給付金効果等の反動減

2022年2月期計画



営業利益予想：10,474百万円（1,325百万円増、114.5%）

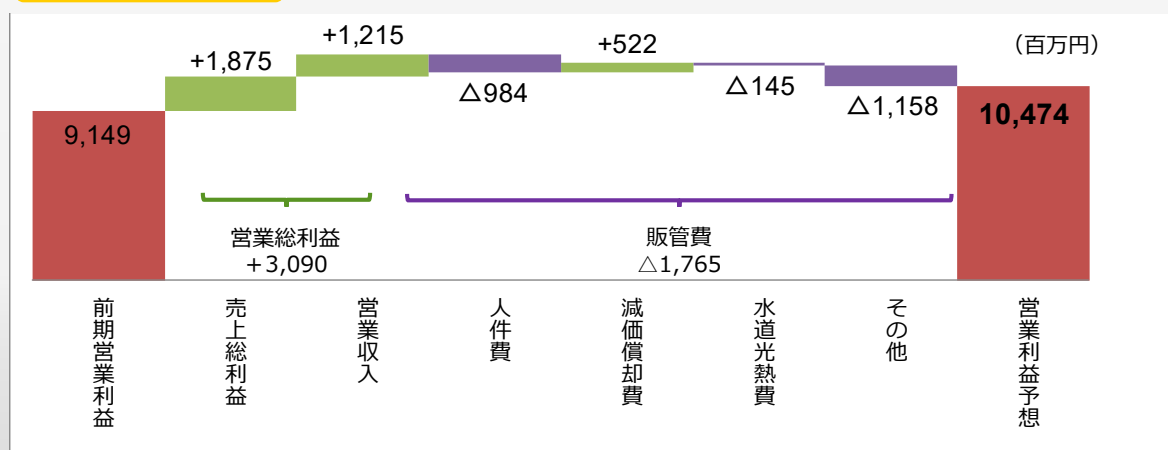
売上総利益：売上高102.1%、粗利率31.4%（前期31.0%）

（衣料品、外食の売上増による粗利ミックス改善）

人件費：前期1Q時短営業等の反動増、既存店へのFC導入等

その他：既存店強化による保守修繕費やEDP費増加等

営業利益増減予想



添付資料



沖縄県企業売上ランキング（2019年度）

（単位：百万円、％）

	上場	会社名	売上高	業種	前年比
1	○	沖縄電力	194,471	電気	△0.8
2	○	サンエー	190,713	スーパー	4.7
3		沖縄徳洲会	144,655	病院	16.1
4		イオン琉球	89,331	スーパー	3.9
5		沖縄ファミリーマート	80,903	コンビニエンスストア	4.2
6	○	沖縄セルラー電話	64,968	携帯電話サービス	1.1
7		りゅうせき	63,256	石油類卸売	△1.9
8		金秀商事	62,292	スーパー	△2.7

（出所：東京商工リサーチ沖縄支店調べ〔銀行等金融機関、損保は除く〕）

お問い合わせ先



IRサイト

<https://www.san-a.co.jp/ir/>

<お問い合わせ先>
 株式会社サンエー 経営企画部
 TEL：098(898)2237
 FAX：098(897)2533

本資料は、2021年2月期の業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。

また、本資料は一部を除き2021年2月末現在のデータに基づいて作成しております。

本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、安全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更させていただくことがあります。